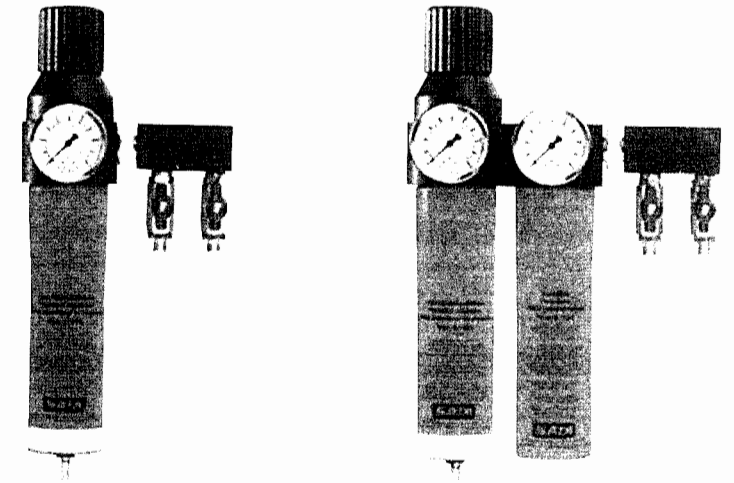


サタ・エアー・フィルター・ユニット 取扱説明書

この取扱説明書には、安全にご使用いただくために重要な警告・注意事項が記載されています。
ご使用前に、必ずお読みになり十分理解してからご使用ください。
また、いつでも見られる所に必ず保管してください。

サタ・エアー・フィルター・ユニット



92221 0/424
サタ・エアー・フィルター

84996 0/444
サタ・コンビ・ファイン・フィルター・ユニット

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になられる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。ご使用での安全にお役に立ちます。

ここに示した注意事項は、製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損傷を未然に防止するためのものです。

警告

下記の取扱いをするとエアフィルターが破裂する恐れがあります。

- 使用気体の空気・窒素以外での使用。
- シンナー・四塩化炭素・トリクロロエタン・灯油・その他有機溶剤などの雰囲気の中での使用。
- 直射日光のあたる場所での使用。
- 指定した使用条件以外での使用。(温度・圧力)
- 本品を分解して再組み付けして使用すること。(但しフィルター交換は可)
- 本体の洗浄での中性洗剤以外での使用。
- 製品の落下及び衝撃を与えること。
- フィルター・カートリッジ交換の目安はエアの品質によって差があります。

エレメントの汚れ具合により標準交換期間より寿命が短くなる場合がありますので、必要に応じて早めの交換をおすすめします。(取扱説明書に記載されている交換サイクルは標準目安で書かれています。)

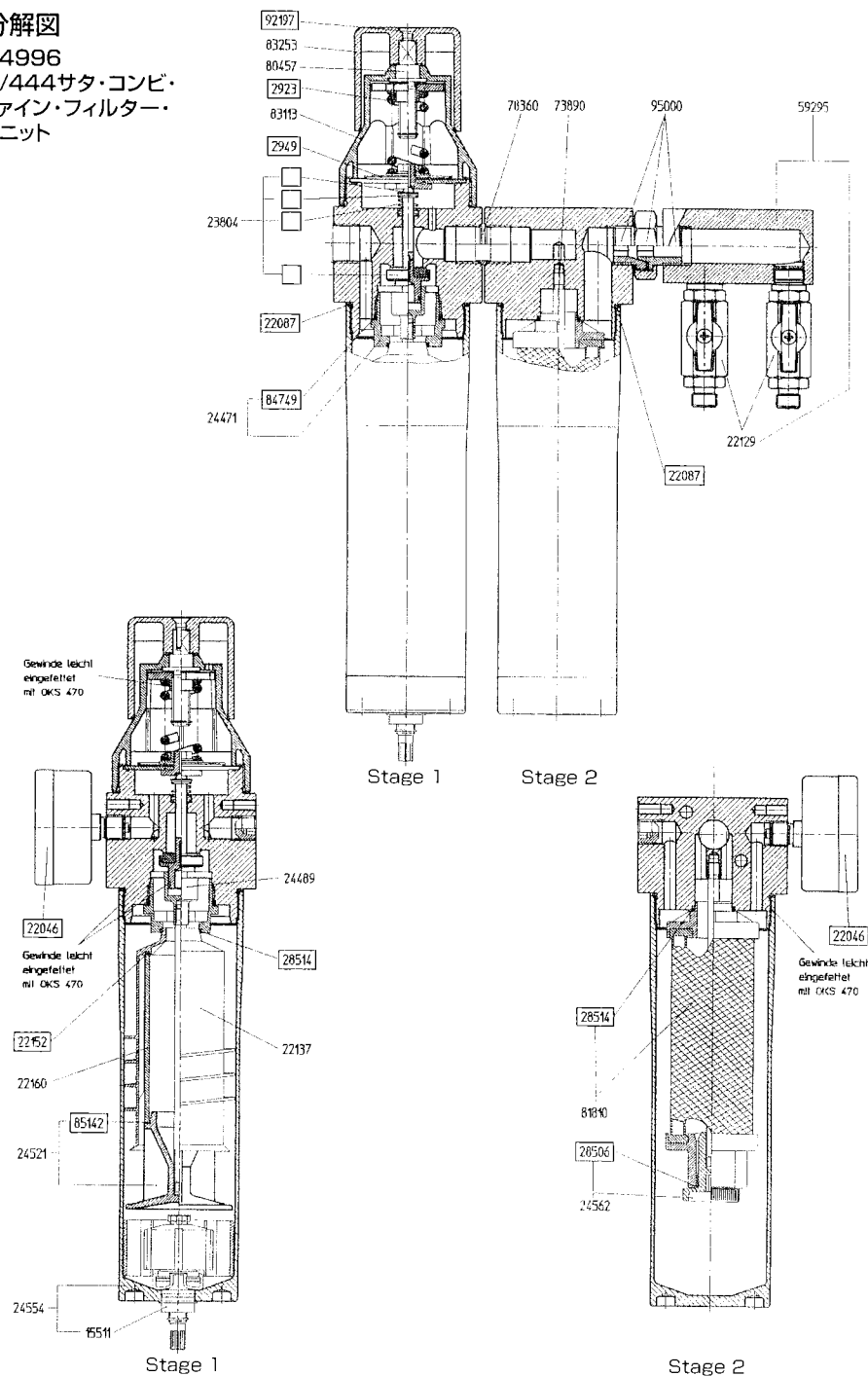
部品名称

No.	名称
521	セキュリティーディスク5mm DIN6799
2923	スプリング(水分離装置)
2949	ダイヤグラム cpl
15511	排出バルブ
22046	圧力計
22087	オーリング 60×2.5mm
22129	テフロン・ボール・タップ cpl.G3/8×E1/4
22137	サイクロン・チューブ
22152	オーリング 33×2.5mm
22160	ブロンズ・フィルター
22319	圧力計
23804	圧カバルブ
24471	プラスチックナット(オーリング付き)
24489	ロッド(圧カバルブ付き)
24521	リテーナー(オーリング付き)
24554	フィルター・スリーブ(自動排出バルブ付き)
24562	アダプター cpl(オーリング付き)
28506	オーリング 13×1.5mm

No.	名称
28514	オーリング 19×2mm
28647	スプリング
28654	ディスク
59279	アウトレット マニフォルド cpl
73890	スレッド ロッド
78360	シーリング
80457	スピンドル cpl
81810	フィルターカートリッジ 0/344用オーリング
83113	ファースニング ナット
83253	レギュレイティング ナット
84749	オーリング 33×2mm
84764	バルブ ロッド
85142	オーリング 30×1.5mm
85357	スタッドレンチ
85373	チャコール カートリッジ
92197	カウンターサンク スクリュー
92569	フィキシングキット(壁取り付け用)
95000	スレッドジョイント cpl

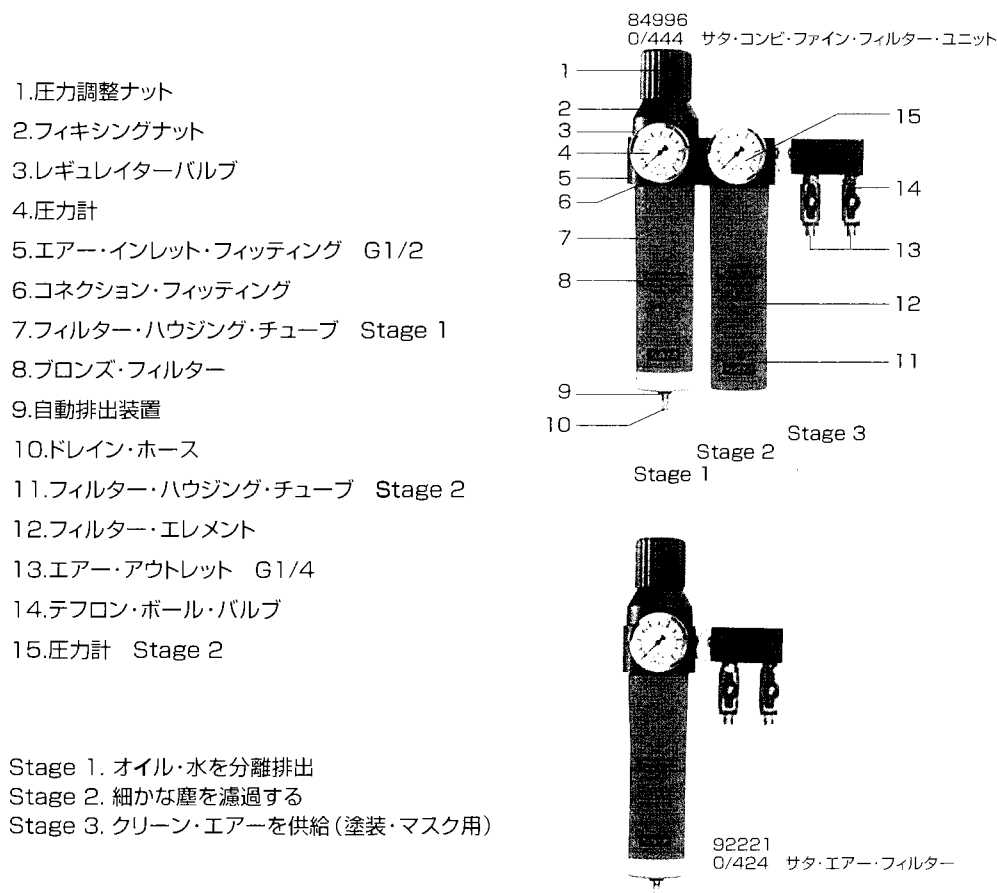
分解図

84996
0/444サタ・コンビ・
ファイン・フィルター・
ユニット



■サタ・エア・フィルター・ユニットの各部名称

この取扱説明書には、安全にご使用いただくために重要な警告・注意事項が記載されています。ご使用前に、必ずお読みになり十分理解してからご使用ください。器具類の修理作業にかかる前に、フィルターユニットにエア圧がかかっていないことをご確認ください。そして、コンプレッサーとの接続を切り、エア圧がかかっていないことを再度ご確認ください。器具類の修理作業を完了して作業にかかる前に、コンプレッサー・ホース・その他器具類との接続部分がしっかり接続出来ているかどうかチェックしてください。不良部品は、作業手順に従って交換してください。フィルター・ユニットの部品交換をされる場合は、サタ社純正部品をご使用ください。各部品類・オーリング類は耐溶剤性ではないのでシンナーにつけて洗淨しないでください。



Stage 1. オイル・水を分離排出
Stage 2. 細かな塵を濾過する
Stage 3. クリーン・エアを供給 (塗装・マスク用)

フィルターを取り付ける際、7、11のハウジング・チューブに記載されている説明書が正面になるようにセットしてください。

1. サタ・エア・フィルター・ユニットの概要

サタ・フィルター・ユニットの0/444サタ・コンビ・ファイン・フィルター・ユニットと0/424サタ・エア・フィルターは、コンプレッサーから供給されるエアを浄化するために使用されます。Stage 1. (0/424サタ・エア・フィルター)は、固形物・液体・気化物をコンプレッサーから供給されるエアから分離いたします。浄化されたエアは、エア工具類の寿命を長くし、塗装後の塗膜のトラブルを無くします。又、サタ塗装用保護具(マスク)を着用する際、0/444 サタ・コンビ・ファイン・フィルター・ユニットに接続するとペインターをブース内の汚れた空気から保護します。



Stage 1



Stage 1. 内蔵
22160 ブロンズ・フィルター
表面積 100cm²



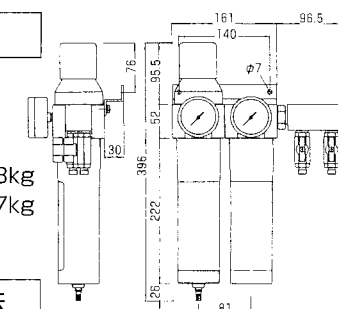
Stage 2. 内蔵
81810 ファイン・フィルター
表面積 300cm²
0.01μmの不純物を99.998%を濾過

- Stage 1.のフィルターは、コンプレッサーから送られたエアから凝縮物・オイル・水を分離排出します。内蔵されているレギュレーターは、エア圧を表示し一定圧力に調整できます。7.フィルター・ハウジング・チューブ内にある程度の量の不純物が蓄積されると10.ドレイン・ホースから自動的に排出されます。
- Stage 2.のフィルターに内蔵されている 81810ファイン・フィルターにより微粒の不純物が濾過し取り除かれ、0.01μmの粒子を99.998%まで分離濾過します。
- アウトレット・モジュール
テフロン・ボール・バルブが2個取り付けられておりサタ・塗装用保護具(マスク)又、スプレーガンに接続できるようになっております。(ねじ山は、G1/4です)
- 交換用フィルター・カートリッジ

フィルター・カートリッジは、Stage 1とStage 2とのエア圧の差が0.1MPa(1bar/15psi)になったことをご確認後交換してください。通常は、6ヶ月ごとに81810ファイン・フィルターを取り替えられることをお勧め致します。Stage1 の22160ブロンズ・フィルターは、6ヶ月ごとに洗淨してください。

2. 技術データとスペック

最大エア圧	1.5MPa(15bar)
エア供給量	毎分 3,600リットル
最高温度	120℃ (活性炭フィルターを使用の際は、60℃)
重量	0/444サタ・コンビ・ファイン・フィルター・ユニット 4.3kg 0/424サタ・エア・フィルター 2.7kg

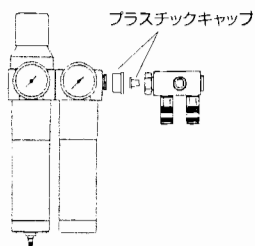


3. サタ・エア・フィルター・ユニットの取り付け方法

サタ・エア・フィルター・ユニットは、垂直に取り付けてください。ネジで取り付ける為にマウンティング・ホール6.5mmが2個あります。設置後揺れ・震動などにより外れないことを確認してください。

No.5 エアー・インレット・フィッティング G1/2 にプラスチック・プラグが差し込まれていますので取り外してください。そして、エアー配管としっかりと接続してください。

- プラスチックのキャップをはずして組立ててください。
- 金具を本体の後側に取り付けて、壁面に垂直に固定してください。

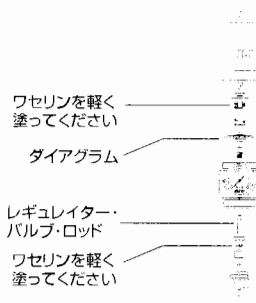


4. O/444 サタ・コンビ・ファイン・フィルター・ユニット

- 1) 凹部をきれいにしてください、そして、必ずオーリングを取り付けてください。
- 2) O/444 サタ・コンビ・ファイン・フィルター・ユニットを組み立てる際は、必ずSW6アレンレンチを使用してしっかりと組立ててください。

5. レギュレーター・バルブ

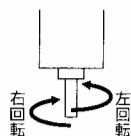
エアー工具などを使用する作業の際の、必要エアー圧の調整は、No.1～3のレギュレーター・バルブを操作してください。もし、エアーがNo.2フィルターキャップあたりから漏れたり、バルブが正常に操作出来なければレギュレーター・バルブを取り外してきれいに掃除し、点検してください。必要ならば、No.2949ダイヤグラムとNo.8764レギュレーター・バルブ・ロッドを交換してください。



6. 自動排出装置

フィルター・ユニットが、垂直に取り付けられていると排出装置は、自動的に作動します。コンプレッサーから送られる圧縮エアーのエアー圧が0.1MPa (1 bar) に落ちると排出装置は、自動的に停止します。フィルター・ユニットへのエアー圧がゼロになると、バルブが開いた状態になります。

- 左回転して金具が上がれば強制排出にセットされます。
- 右回転して金具が下がればオートドレインにセットされます。



7. フィルター・カートリッジの取り外し

サタ・エアー・フィルター・ユニットを修理(メンテナンス)をする場合は、エアー配管との接続を外しサタ・エアー・フィルター・ユニットにエアー圧がかかっていないことを必ず確認して修理作業を始めてください。フィルター・カートリッジを、取り外す時“ピボット・レンチ”(サタ・エアー・フィルター・ユニットご購入時に付いています)を使用してください。

ブロンズ・フィルターを洗浄するとき、No.24521 リティナーとNo.22137 サイクロン・チューブのネジを緩めてNo.22160 ブロンズ・フィルターを外してください。交換カートリッジは、正しい位置に取り付けて、オーリングも傷を付けないように注意してセットしてください。

ホコリ・オイル・水・静電気のトラブルでお困りではありませんか!!

サタ・エアー・フィルター・ユニット
サタ・エアー・フィルター・ユニット・シリーズは、コンプレッサーから供給されるエアーを完全に浄化し、不純物のないクリーンエアーを供給します。

- 超微粒子フィルターと活性炭フィルターユニットで、圧縮エアー内のホコリ・オイル・水を100%取り除きます。
- エアー供給量は毎分3600リットルで余裕の作業を実現します。

汚れた圧縮エアーを使っていると...

- エアー工具類の破損の原因となり、エアー工具の寿命が短くなります。
- 塗装した車の塗膜のトラブル、クレタリング、艶引けなどの原因になります。

サタ・エアー・フィルター・ユニットを使うと

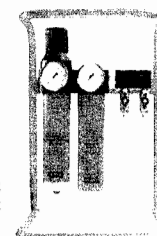
- エアー工具破損の原因となるホコリ・オイル・水を100%取り除き、エアー工具の寿命を長く保ち、コスト削減につながります。
- 車の塗装後の手直し作業が減り、作業効率アップにつながります。
- フィルター・ユニット内のブロンズフィルターが静電気をイオン化し除去します。サタ・エアー・ホースとの併用で静電気のトラブルがさらに解消します。

7717-1
サタ・エアー・ホース
(内径φ9mm 長さ10m)



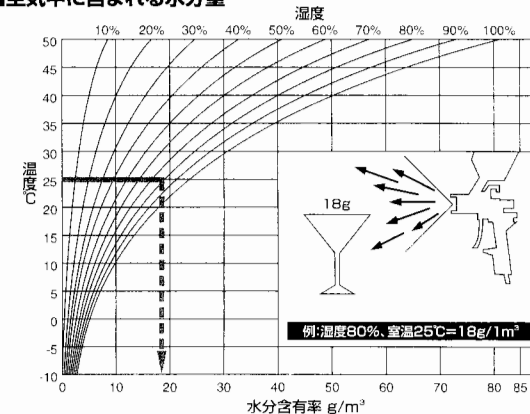
サタ・ポータブルスタンド

■52183
サタ・ポータブルスタンド
(スタンドのみ)



高温多湿による塗装時のトラブルを100%解消。フィルターユニット内のブロンズフィルターで静電気をイオン化し除去します。

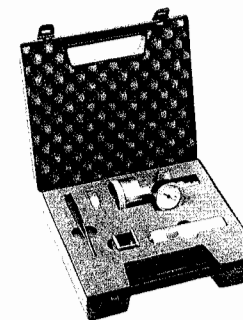
■空気中に含まれる水分量



サタ・エアー・チェック・セット

サタ・エアー・チェック・セットは、工場内の配管、エアーホース・フィルター内のエアーの汚れ、またはクリーン度をテストペーパーを使用して点検します。

- セット内容: テストペーパー、ツイーザー、拡大鏡、チェックライト、ピンセット



7666
テストペーパー
(10枚入り)

■7096
サタ・エアー・チェック・セット

[テストペーパーの汚れ具合を確認してください。]



■上記の検査方法によって得たエアーラインのエアーの汚染状況によっては、塗膜トラブルの原因になるので、工場内の配管・エアーホース・フィルターの取り替えなどを検討しなければなりません。



イサム塗料株式会社

営業企画部 〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南3-9-8 ☎06(6308)1365 FAX06(6308)5581
東京支店 〒174-0042 東京都板橋区東坂下1-16-7 ☎03(3969)2131 FAX03(3969)2137
名古屋支店 〒452-0824 名古屋市西区こも原町82 ☎052(502)0136 FAX052(502)0174
大阪支店 〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南3-9-8 ☎06(6308)1363 FAX06(6308)1348
福岡支店 〒811-2304 福岡県粕屋郡粕屋町仲原2777-1 ☎092(611)1360 FAX092(623)8430
札幌出張所 〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条3-11-13 ☎011(893)8035 FAX011(893)8036
仙台出張所 〒981-3201 仙台市泉区泉ヶ丘1-20-23 ☎022(375)1367 FAX022(375)2812
横浜出張所 〒232-0016 横浜市南区宮元町3-51 ☎045(715)7462 FAX045(715)7463
広島出張所 〒733-0012 広島市西区中広町1-5-17-2 ☎082(291)1234 FAX082(295)6138
滋賀工場 〒525-0072 滋賀県草津市笠山8-2-1 ☎077(562)1360 FAX077(562)1364

<http://www.isamu.co.jp/>

04-05 01-85